I-O DATA

MotionPix

1.3MEGA PIXELS AVMC131

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

124052-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。
(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

もくじ

お読みになる前に 2
必ずお守りください 3

はじめに 11
箱の中には 12
仕様 14
各部の名称 15
取り付ける 16

使ってみよう 19
カメラの電源を入／切する 20
メニュー 21
撮影について 23
ムービーを撮る 25
写真を撮る 26
録音する 29
撮影／録音したデータを見る／聞く 30
データを消去する 32
CF カードをフォーマットする 34

パソコンに接続して使う 35
動作環境 36
使えるようにしよう 37
DV Disk モード／LIVE モード 41
MediaSink 43

付録 44
困った時には 45
Windows Messenger, Netmeeting で使う 47
Ulead のソフトウェア 53
デジカメ 3D エディタ LE 55

お問い合わせ 56
修理 58

お読みになる前に

この度は、本製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

❑ 呼び方

呼び方	説明
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System

❑ マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

❑ 警告および注意事項

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❑ 絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。



この記号は禁止の行為を告げるものです。



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

❑ ⚠ 警告


厳守

本製品をパソコンで使用する場合は、ご使用のパソコンのメーカーが指示している警告、注意表示を厳守する


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する

電源を切って電池を抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


禁止

雷が鳴り出したら金属部分に触れない

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


禁止

濡れた手で本製品を扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。


水濡れ禁止

本体を濡らしたり、水の近くでは使用しない

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

指定外の方法で電池を使わない

電池は(＋)(－)の方向を守って入れてください。


禁止

本製品を飛行機や病院内で使わない

使用した場合、飛行機や病院にある制御装置などの誤作動の原因となることがあります。


禁止

液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。


発火注意

本製品をパソコンに取り付ける場合は、本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意する

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコンやケーブルから発煙したり火災の原因になります。


禁止

電池について下記に注意する

電池の破裂・液漏れによる、火災・けがの原因となります。

・くぎを刺したり、分解・改造をしない　　・60℃以上の場所、車中で放置しない
・定格条件以外での使用をしない　　・水につけない
・電子レンジ・オーブンに入れない　　・充電しない
・（＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだなどを使用しない
・ネックレスやヘアピンなどの金属と一緒に持ち運ばない
・火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らさない
・新旧電池を混在して使わない

必ずお守りください


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと、失明や「けが」、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。

液が体や衣服に付いたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症や「けが」の症状があるときは、医師に相談してください。


厳守

電池を廃棄や保存する場合は、端子部にセロハンテープなどの絶縁体をはる

他の金属や電池と混じると、発火・破裂の原因となります。


注意

電池は、乳幼児の手の届かない場所に置く

電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

指定外の電池を使わない

火災の原因となります。

充電池やマンガン電池などを使わないでください。


禁止

移動しながらの撮影はしない

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながら使わないでください。転倒、交通事故の原因となります。

❑⚠注意



本製品のコネクタには触れない

コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。



動作中にケーブルを激しく動かさない

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。



汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きする

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。



電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、「けが」や「やけど」の原因となります。万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。



本製品を結露させたまま使わない

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露し、誤動作や故障の原因となります。


禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しない

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●傾いた場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●温度差の激しい場所
- ●静電気の影響の強い場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl2, H2S, NH3, SO2, NOX など）


禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにする


発火注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。
あらかじめ、ご了承ください。

❑ 使用上のご注意

撮影／録音の前に、試し撮り／録りを行ってください

大切な撮影／録音（結婚式、会議など）をするときには、先に試し撮り／録りをし、再生して撮影／録音されていることを確認してください。

※ 本製品の故障などにより起因する付随的損害（撮影／録音に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

著作権についてのご注意

あなたが本製品で記録したものには、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できないものがあります。

なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメディアの転送は、著作権法上の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

内蔵メモリと電池について

・電池が切れるか、電池を抜いた場合、内蔵メモリに記録されたデータは消去されます。

・内蔵メモリのデータを保持するため、常に電池を消費します。
長期間お使いにならない場合は、電池を抜いてください。

液晶には輝点(点灯したままの点)、滅点(点灯しない点)がある場合があります

これは、液晶パネル自体が **99.99%**以上の有効画素と **0.01%**の輝点・滅点をもつことによるものです。
故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に
基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して
使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

箱の中には ・・・

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。□にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

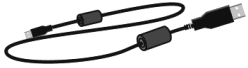
イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

添付のアルカリ乾電池について
これは動作確認用です。なるべくお早めに市販の電池と交換してください。

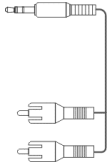
□**カメラ(1 台)**



□**USB ケーブル(1 本)**



□**出力ケーブル(1 本)**



□**アルカリ乾電池**
(単 3 形:2 本)



□**ストラップ(1 本)**



□**三脚(1 本)**



□**MotionPIX AVMC131 サポートソフト(1 枚)**



- ☑ **AVMC131 取扱説明書（1 冊：本書）**
- ☐ **赤青メガネ（1 個）**
- ☐ **AVMC131 クイックリファレンス（1 枚）**
- ☐ **ハードウェア保証書（1 枚）**



ユーザー登録について

インターネットから登録する事ができます。

アドレスはこちら

http://www.iodata.jp/regist/

仕様

本製品の仕様を説明します。

❑ ハードウェア仕様

映像素子	CMOS
画素数	130 万画素
内蔵メモリ	8M バイト SDRAM
メモリスロット	CF カードタイプ 1 (8M～512M バイトまで対応)
液晶パネル	1.4 インチ STN 液晶

インターフェイス	USB 1.1 コネクタ
映像音声出力	ビデオ・オーディオ (モノラル)出力コネクタ
マイク	モノラルマイク
スピーカー	モノラルスピーカー
電源	単三形アルカリ乾電池 2 本

❑ 推奨フラッシュメディア

弊社製	CFS シリーズ, PCSD シリーズ※, PCMMC シリーズ※, MMC2 シリーズ※

※ 弊社製 CFSD-ADP を使うことにより対応。

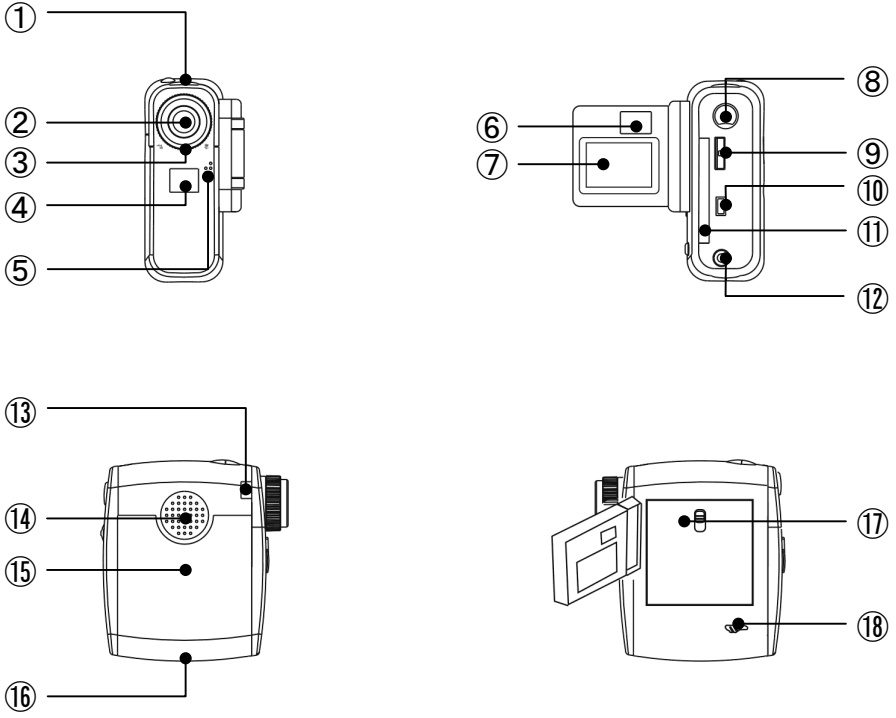
参考

マイクロドライブには対応しておりません
ご了承ください。

各部の名称

本製品の各部の名称を説明します。

①	シャッターボタン
②	レンズ
③	フォーカス
④	ミラー
⑤	マイク
⑥	ファインダー
⑦	液晶ディスプレイ
⑧	ビデオボタン
⑨	メニューコントロール
⑩	USBポート
⑪	CFカードスロット
⑫	ビデオ・オーディオ出力コネクタ
⑬	ストラップホルダー
⑭	スピーカー
⑮	電池カバー
⑯	三脚ねじ穴
⑰	液晶バックライト スイッチ
⑱	取り出しスライド

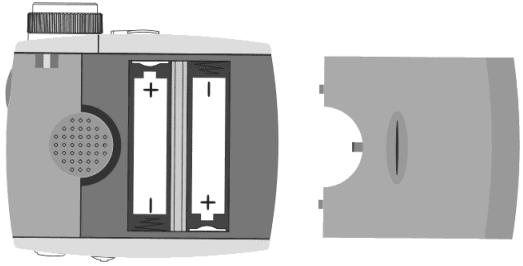


取り付ける

本製品に添付品を取り付ける方法について説明します。

❑ 電池を入れる

2 本の単 3 形アルカリ電池で動作します。
電池カバーを取り外し、(＋)(－)の向きを間違えないように電池を入れてください。

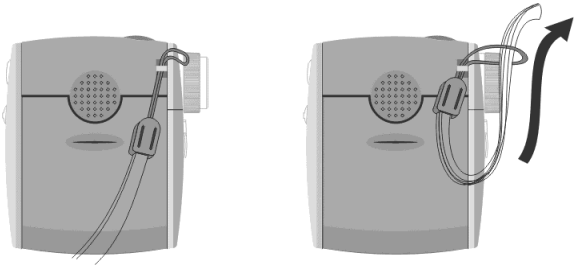


注意

内部メモリの内容が消えてしまいます
内部メモリのデータを移動してから作業を行ってください。

❑ ストラップを取り付ける

① ストラップの小さい方の輪を、ストラップホルダーに通します。
② 大きい方の輪の端を、小さい方の輪に通してから引っ張ります。

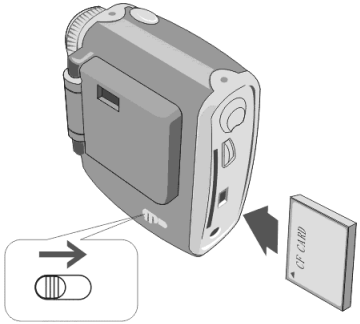


注意

上記にしたがって正しい取り付けを行ってください
誤った取り付けによる損害などの責任は弊社では一切負いかねます。

❑CFカードを入れる

本製品には 8～512M バイトまでの CF カードを入れることができます。CF カードに空き容量がある限り、CF カードにデータが保存されます。
取り出すときは、側面の取り出しスライドを動かしてください。



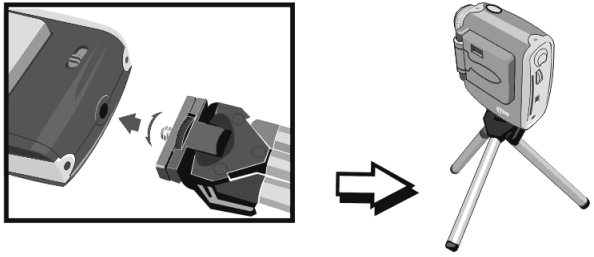
CF カードを読み書きしているときに、取り出さないでください
データが破損するおそれがあります。

CF カードを入れている間、内部メモリは見られません
内部データの内容が消えるわけではありません。

❑ 三脚を取り付ける

長いムービー撮影や自分を撮るとき、またはテレビ会議に使用するときなどは三脚を使うと便利です。

底面の三脚ねじ穴に三脚の先を入れ、三脚のねじを締めてください。その後、角度を調整し、三脚のロックを使って固定してください。



Memo

使ってみよう

カメラの電源を入／切する ····· ２０

メニュー ····· ２１

撮影について ····· ２３

ムービーを撮る ····· ２５

写真を撮る ····· ２６

録音する ····· ２９

撮影／録音したデータを見る／聞く ····· ３０

データを消去する ····· ３２

CF カードをフォーマットする ····· ３４

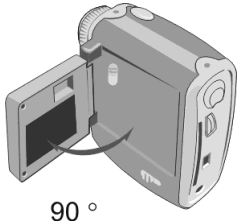
カメラの電源を入／切する

本製品の電源を入／切する方法を説明します。

1　液晶パネルを開きます。

液晶パネルを 90 度開きます。

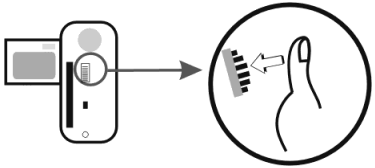
※ 液晶パネルを 90 度より大きく開かないでください。



2　メニューコントロールを約 3 秒間押し続けます。

⇒電源が入ります。

電源を切るときも同じ操作で切ることができます。



参考

電源を切れない

メニューが表示されていませんか？

表示されている場合は、メニューを閉じてからもう一度お試しください。

自動電源 OFF について

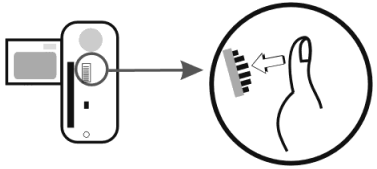
本製品を 60 秒間操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。

メニュー

本製品のメニューについて説明します。

❑ メニューを開く

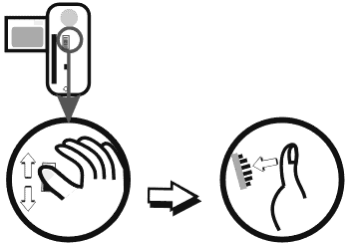
- **メニューコントロールを押します。**
  ⇒メニューが開きます。



❑ メニューの操作

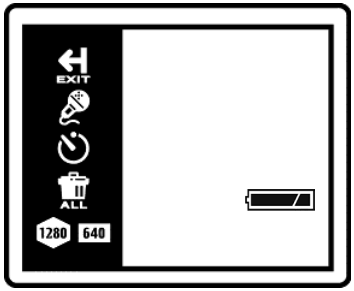
- **メニューコントロールを上下に動かします。**
  ⇒メニュー項目を選べます。

- **メニューコントロールを押します。**
  ⇒メニュー項目を実行します。

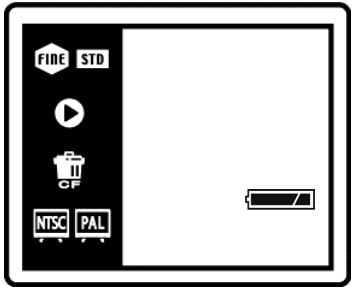


❑ メニュー項目

EXIT	**メニューを閉じる**	メニューを終了します。
	音声記録モード	【録音する】(29ページ)
	セルフタイマー	【セルフタイマー】(28ページ)
ALL	**全て消去する**	【データを消去する】(32ページ)
1280 640	**解像度**	【解像度／画質】(27ページ)
FINE STD	**画質**	【解像度／画質】(27ページ)
	再生モード	【撮影／録音したデータを見る／聞く】(30ページ)
CF	**CF カードフォーマット**	【CF カードをフォーマットする】(34ページ)
NTSC PAL	**ビデオ出力タイプ**	NTSC に設定してください。



1 ページ目



2 ページ目

❑ 電池残量インジケータ

電池の状態を示します。

- ‥十分に電池がある
- ‥電池が残り少ない
- ‥電池はほとんどない

注意

の状態になったら、内部メモリのデータを移動してください

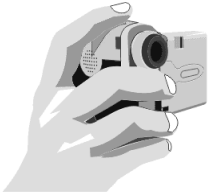
電池が切れてしまったら、内部メモリ内にあるデータは全て消えてしまいます。それまでにパソコンに接続するなどしてデータを移動・バックアップしてください。

撮影について

本製品を使って撮影するときの注意点を説明します。

❑ 持ち方

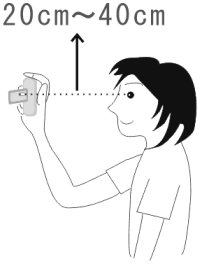
下のように持ち、レンズやマイクをふさがないようにご注意ください。





❑ ファインダーののぞき方

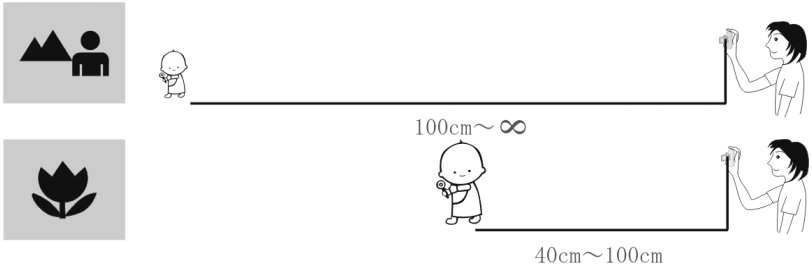
20cm～40cm ほど離して、のぞいてください。近づけてのぞくと、ぼやけてしまいます。

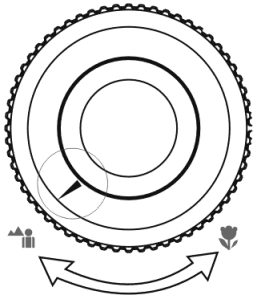




❑ フォーカス

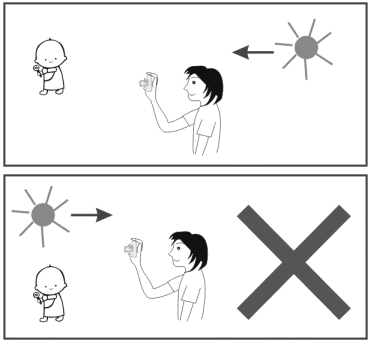
● **フォーカスを回して設定します。**





❑ 正しい撮影方法

① のときは、あまり近づきすぎないようにご注意ください。
② 撮影対象を正面からとらえていることを確かめてください。
③ カメラの高さを保ちながら安定させた状態で、シャッターを押してください。
④ 適切な光源があることを確かめてください。
※ 屋内の場合は、特にご注意ください。
⑤ ムービーを撮る際は、カメラをゆっくり移動させてください。



ムービーを撮る

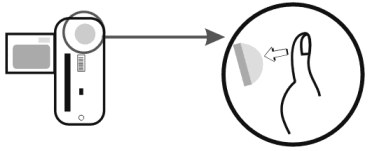
本製品を使ってムービー撮影する方法を説明します。

❑ 撮影できるムービー

ファイル形式	AVI ファイル形式
サイズ	320×240 ピクセル
フレームレート	10fps

メモリ容量	撮影可能時間	メモリ容量	撮影可能時間
8M バイト	約 1～2 分	128M バイト	約 25～60 分
16M バイト	約 3～5 分	256M バイト	約 50～120 分
32M バイト	約 6～10 分	512M バイト	約 100～240 分
64M バイト	約 12～30 分		

❑ ムービー撮影方法



1　ビデオボタンを押します。

⇒ムービー撮影が開始されます。
　ビデオボタン左上のランプが点滅します。

2　撮影を終了するときは、ビデオボタンを押します。

⇒ムービー撮影は終了します。ビデオボタン左上のランプが消灯します。

参考

撮影できない

メニューが表示されている場合は、メニューを閉じてからもう一度お試しください。

写真を撮る

本製品を使って写真撮影する方法を説明します。

❑ 撮影できる写真

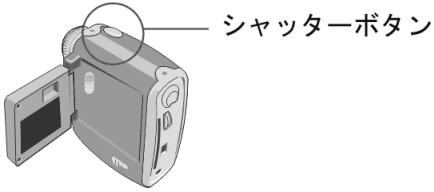
ファイル形式	JPEG 形式

❑ 写真撮影方法

1　解像度／画質を設定します。
【解像度／画質】(27ページ)をご覧ください。

2　撮影対象をファインダーの中央に合わせます。

3　シャッターボタンを押します。
⇒写真撮影されます。
ビデオボタンの左上にあるランプが点灯します。
そのランプが消灯すれば、写真撮影は完了です。



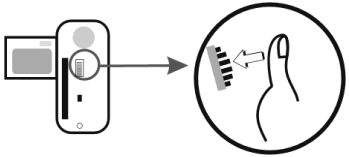
参考

撮影できない
メニューが表示されている場合は、メニューを閉じてからもう一度お試しください。

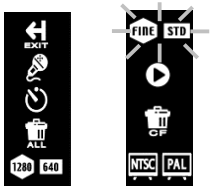
❑解像度／画質

アイコン	1280 ／ FINE	1280 ／ STD	640 ／ FINE	640 ／ STD
解像度	1280×1024 ピクセル（1.3M ピクセル）		640×480 ピクセル（VGA）	
画質	ファイン	標準	ファイン	標準
撮影枚数(8MB)	約 20 枚	約 40 枚	約 80 枚	約 160 枚

1　メニューを開きます。
メニューコントロールを押します。



2　解像度／画質のアイコンを確認します。
解像度／画質を変えたい場合は、それぞれのアイコンに合わせてからメニューコントロールを押してください。

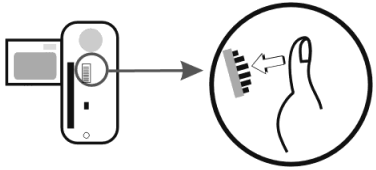


3　メニューを閉じます。
［メニューを閉じる］アイコンに合わせてからメニューコントロールを押してください。



❑ セルフタイマー

1　メニューを開きます。
メニューコントロールを押します。



2　セルフタイマーのアイコンに合わせてシャッターボタンを押します。
⇒10 秒後に自動的にシャッターが切られます。



録音する

本製品を使って音声を記録する方法を説明します。

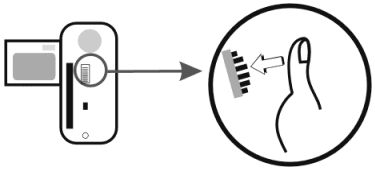
❑ 録音できる音声データ

ファイル形式	WAVE ファイル形式
サンプルレート	8KHz
チャンネル	モノラル

メモリ容量	撮影可能時間
8M バイト	約 30 分
16M バイト	約 1 時間
32M バイト	約 2 時間
64M バイト	約 4 時間

メモリ容量	撮影可能時間
128M バイト	約 8 時間
256M バイト	約 16 時間
512M バイト	約 32 時間

❑ 録音方法



1 **メニューを開きます。**
メニューコントロールを押します。

2 **音声記録モードのアイコンを選んで、実行します。**
⇒録音が始まります。マイクに向かって話してください。



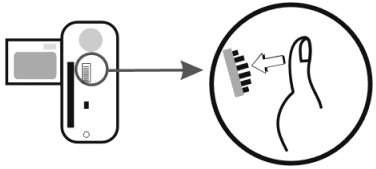
3 **録音を止めます。**
メニューコントロールを押します。

撮影／録音したデータを見る／聞く

撮影／録音したデータを見る／聞く方法を説明します。

❑ 液晶ディスプレイで見る／聞く

1 **メニューを開きます。**
メニューコントロールを押します。



2 **再生モードのアイコンを選んで、実行します。**
⇒サムネイルモードになります。

3 **メニューコントロールでデータを選び、実行します。**
⇒選んだデータが再生／表示されます。



参考

データが表示された状態から戻るには
メニューコントロールを押すことで、サムネイルモードに戻ります。

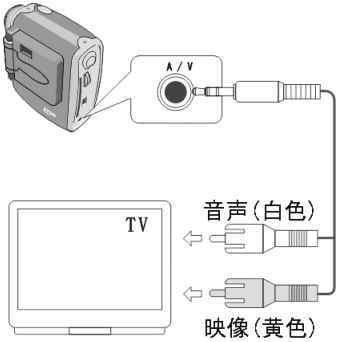
通常の状態に戻るには
ビデオボタンを押してください。

データが表示された状態で別のファイルに移動する
メニューコントロールを回してください。

❑テレビで見る／聞く

1　本製品とテレビを接続します。

添付の出力ケーブルを使って、テレビにあるビデオ入力の映像端子と音声端子に接続します。
⇒テレビに液晶パネルの表示が映ります。



2　あとは、【液晶ディスプレイで見る／聞く】(30ページ)をご覧ください。

参考

テレビに何も映らないときは

- メニューにあるビデオ出力タイプアイコンが NTSC になっていることを確認してください。
- テレビが本製品に対応したビデオ入力を映すようになっているかを確認してください。

データを消去する

撮影／録音したデータを消去する方法を説明します。

❑ データを選んで消去する

1 **データを選んで表示させます。**
【液晶ディスプレイで見る／聞く】(30ページ)をご覧ください。

2 **消去したいデータを選んだ状態で、シャッターボタンを押します。**
⇒データの部分にゴミ箱の図が表示されます。

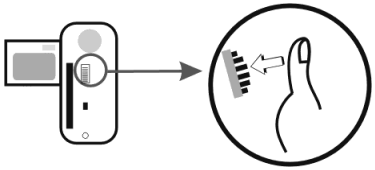
参考

消去したいデータを間違えた場合は
そのまま 5 秒間待てば、解除されます。

3 **もう一度シャッターボタンを押します。**
⇒選んだデータが消去されます。

❑ 全てのデータを消去する

1　メニューを開きます。
メニューコントロールを押します。



2　全て消去するのアイコンを選んで、実行します。
⇒アイコンが点滅を始めます。



参考

全てのデータを消去するのを中止したい場合は
そのまま 5 秒間待てば、解除されます。

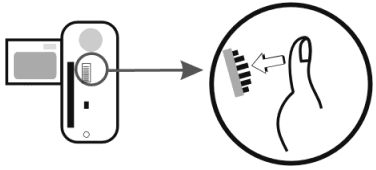
3　メニューコントロールをもう一度押します。
⇒全てのデータが消去されます。

CF カードをフォーマットする

撮影／録音したデータを消去する方法を説明します。

1 **CF カードを入れます。**
【CF カードを入れる】(17ページ)をご覧ください。

2 **メニューを開きます。**
メニューコントロールを押します。



3 **CF カードフォーマットのアイコンを選んで、実行します。**
⇒CF カードがフォーマットされます。



パソコンに接続して使う

動作環境 ・・・

動作環境

本製品をパソコンに接続して使える環境を説明します。

❑ 対応機種および対応OS

対応機種	DOS/V マシン, PC98-NX シリーズ
対応 OS	Windows XP, Windows 2000, Windows Me, Windows 98 SE
CPU	Pentium Ⅱ 226MHz 以上（Pentium Ⅲ 500MHz 以上推奨）
メモリ	60M バイト以上（128M バイト以上推奨）
DirectX	DirectX 8.0 以上
ビデオメモリ	4M バイト以上
CD-ROM	4 倍速以上
USB 環境	USB 1.1 対応ポート搭載



最新情報は弊社 Web ページをご覧ください

弊社 Web ページ(http://www.iodata.jp/)では、最新情報を掲載しております。
お使いの際は、こちらもご覧ください。

使えるようにしよう

本製品をパソコンに接続して使えるようにする方法を説明します。

参考

ここでの画面例について

ここでは、Windows XP の画面例を掲載しています。
Windows によっては画面が異なりますが、操作はほぼ同じです。ご注意ください。

1 **Windows を起動します。**

※ Windows XP/2000 はコンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

2 **パソコンに MotionPIX AVMC131 サポートソフトを挿入します。**

⇒サポートソフトメニューが表示されます。

参考

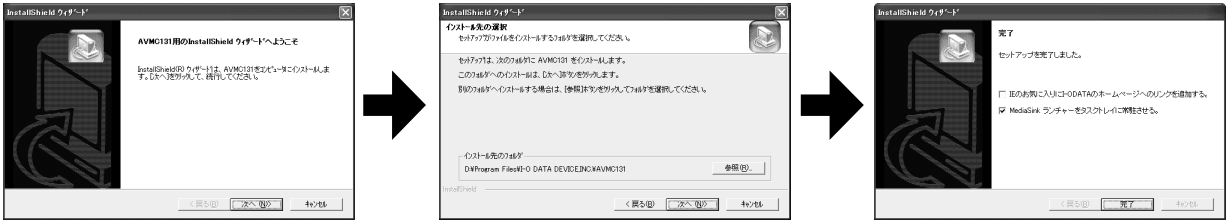
サポートソフトメニューが表示されない

［マイコンピュータ］→［AVMC131］→［AUTORUN］の順にダブルクリックします。

3 **［AVMC131 をインストール］をクリックします。**

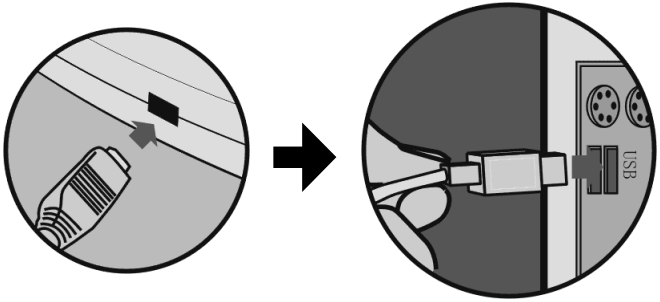
⇒インストールが始まります。

4 画面の指示に従ってインストールします。



5 本製品をパソコンに接続します。

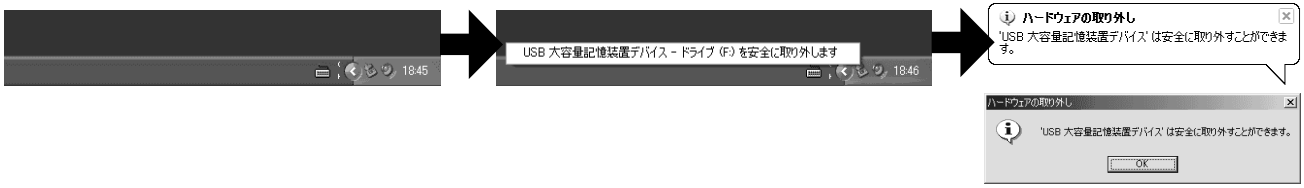
添付の USB ケーブルを使って、
パソコンと接続します。
⇒自動的に本製品の電源が入ります。
その後、しばらく自動的に本製品が
インストールされます。



参考

Windows によっては、Windows の CD-ROM を要求されます
その場合は、画面の指示に従って Windows の CD-ROM を挿入してください。

6 画面の右下にアイコンが表示されたら、クリックして本製品を停止します。



参考

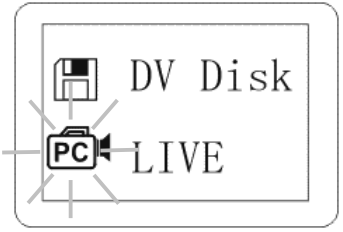
本製品を取り外す必要はありません

取り外してしまった場合は、もう一度接続し、手順 **6** からやり直してください。

7 メニューコントロールで[LIVE]を選んで、実行します。

本製品の液晶パネルをご覧になり、［LIVE］を選んで実行します。

⇒しばらく待つと、本製品が PC カメラとして認識されます。



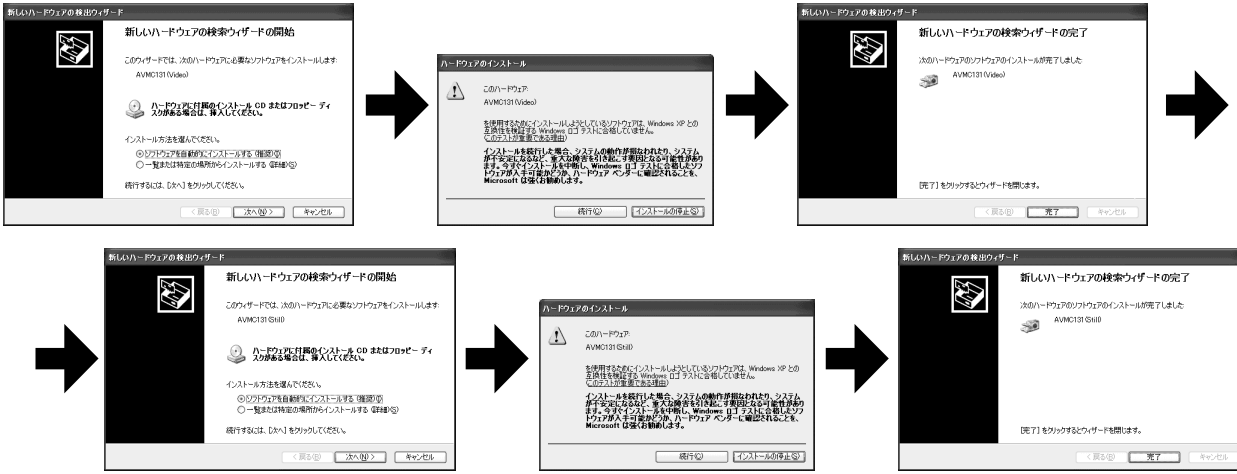
参考

Windows Me/98 をお使いの場合

しばらく自動で本製品がインストールされた後、使えるようになります。

【DV Disk モード／LIVE モード】(41ページ)をご覧ください。

8 画面の指示に従ってインストールします。



参考

本製品は問題なくお使いいただけます

「Windows ロゴテストに合格していません」や「インストールするソフトウェアには Microsoft デジタル署名がありません」と表示されることがあります。

弊社にて、本製品は問題なくお使いいただけることを確認しておりますので、［続行（はい）］ボタンをクリックしてください。

DV Disk モード／LIVE モード

本製品をパソコンに接続した時の二つのモードについて説明します。

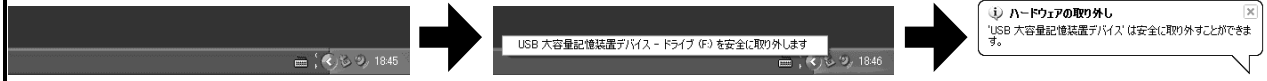
❑DV Diskモード

本製品（内部メモリ、フラッシュメディアが入っている場合はフラッシュメディア）がリムーバブルディスクとして認識されます。
また、添付の MediaSink を使うことができます。
撮影したデータをパソコンに移動するときなどにお使いください。

参考

パソコンの電源を切る前に本製品を取り外す場合

画面右下のアイコンをクリックし、本製品を停止してから、取り外してください。



❑LIVEモード

PC カメラとして認識されます。
Windows Messenger などの PC カメラとしてお使いください。

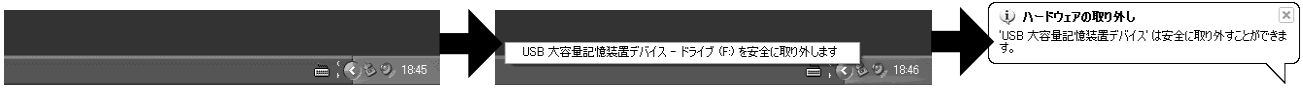
参考

Windows Messenger や Netmeeting で使う

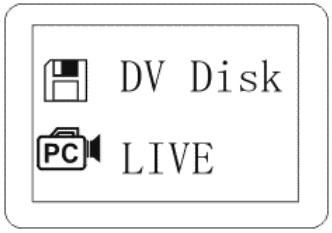
LIVE モードに設定した後で、【Windows Messenger, Netmeeting で使う】(47ページ)をご覧ください。

❑ モードの切り替え方法

1　画面の右下にアイコンが表示されていたら、クリックして本製品を停止します。



2　メニューコントロールで切り替えたいモードを選んで、実行します。
⇒しばらく待つと、本製品がそのモードで起動されます。



MediaSink

MediaSink は、本製品で撮影されたムービーや写真を整理するためのソフトウェアです。

❑MediaSinkの起動方法

① 本製品を DV Disk モードでパソコンに接続します。
② ［スタート］→［（全ての）プログラム］→［I-O DATA MediaSink］→［MediaSink］の順にクリックします。

❑MediaSinkの操作方法

オンラインマニュアルをご覧ください。
サポートソフトメニューから「オンラインマニュアルを見る」をクリックすることで、表示されます。

付録

困った時には ・・・

困った時には

現象	対処
電源が入らない	● メニューコントロールを約 3 秒間押し続けてください。 ● 電池が入っていることを確認してください。
電源を入れたのに、液晶ディスプレイに何も表示されない	● バックライトを ON にしてみてください。 ● 新しい電池に変えてみてください。
ムービー・写真が撮れない／録音ができない	● 内部メモリ、または CF カードはいっぱいです。パソコンにデータを転送するなどして容量を空けてください。 ● レンズやマイクを指などでふさいでないか確認してください。
内部メモリに入れたデータが消えてしまった	● 電池と交換すると、内部メモリのデータは消えてしまいます。 ● 電池が切れると、内部メモリのデータは消えてしまいます。電池が切れる前に、パソコンなどにデータを転送してください。
テレビに出力ケーブルをつないだのに、映像が映らない／正しく表示されない	● 出力ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。 ● 本製品を接続したビデオ出力を映すように、テレビの入力切換を設定してください。 ● ビデオ出力タイプを NTSC にしてください。
撮影したムービー／写真がぼやけている	● フォーカスを正しく設定してください。

現象	対処
撮影したムービー／写真が暗い	● 適切な光源のもとで撮影してください。 ● PhotoImpact などの編集ツールで明るさを変更してください。
LIVE モードで使っているときに、映る画面にノイズが現れる	● DVD MovieWriter 1.5 SE などを使って、本製品のドライバのプロパティを開き、Banding filter を 50Hz か 60Hz に変えてください。 

Windows Messenger, Netmeeting で使う

Windows Messenger や NetMeeting を使う方法について説明します。

❑ここで説明すること

本製品を接続することにより、Windows Messenger や NetMeeting で映像を扱うことができます。

※ ここでは、Windows Messenger や NetMeeting で映像を扱うための設定についてのみ説明します。Windows Messenger や NetMeeting の操作方法については、それぞれのヘルプをご覧ください。

Windows Messenger で映像を扱う	47ページ
NetMeeting で映像を扱う	51ページ

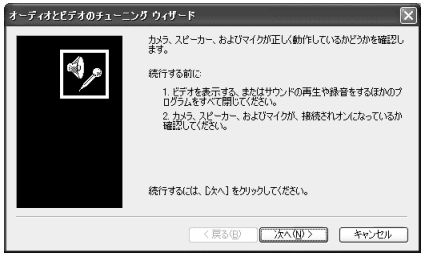
❑Windows Messengerで映像を扱う

1 **Windows Messenger を起動します。**
Windows Messenger でメッセージを送ることができる状態にしておいてください。

2 **「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を起動します。**
［ツール］→［オーディオとビデオのチューニングウィザード］の順にクリックします。
⇒「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

3 **本製品を LIVE モードで接続します。**
【DV Disk モード／LIVE モード】(41ページ)をご覧ください。

4 **[次へ]ボタンをクリックします。**



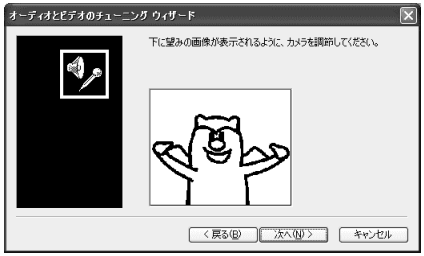
5 **[AVMC131(Video)]で接続します。**

① 「カメラ」を［AVMC131(Video)］に設定します。

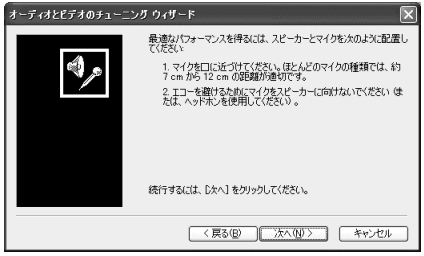
② ［次へ］ボタンをクリックします。



6 **カメラの映像を調整し、[次へ]ボタンをクリックします。**



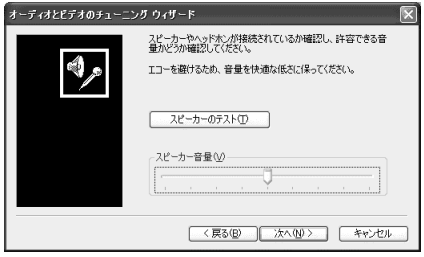
7 [次へ]ボタンをクリックします。



8 マイクとスピーカーの設定をします。



9 スピーカーの確認をし、[次へ]ボタンをクリックします。



10 **マイクの設定をし、[次へ]ボタンをクリックします。**
インジケータが黄色になることを確認した後で、［次へ］ボタンをクリックします。



11 **[完了]ボタンをクリックします。**



これで、Windows Messenger の設定は完了です。

参考

Windows Messenger の操作方法については、ヘルプをご覧ください
弊社では、サポートいたしかねます。

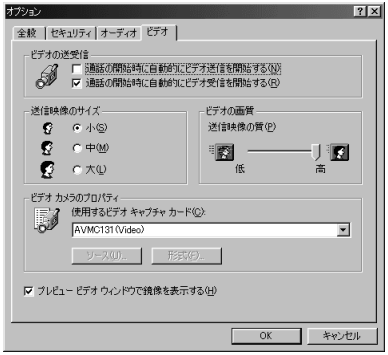
❑NetMeetingで映像を扱う

1 **NetMeeting を起動します。**

2 **本製品を LIVE モードで接続します。**
【DV Disk モード／LIVE モード】(41ページ)をご覧ください。

3 **「オプション」を起動します。**
［ツール］→［オプション］の順にクリックします。
⇒「オプション」が起動します。

4 **「使用するビデオキャプチャカード」を設定します。**
① ［ビデオ］タブをクリックします。
② 「使用するビデオキャプチャカード」を
［AVMC131(Video)］に設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。



5 ▶/II **ボタンをクリックします。**
⇒カメラの映像が表示されます。



これで、NetMeeting の設定は完了です。
NetMeeting の操作方法については、NetMeeting のヘルプをご覧ください。

参考

NetMeeting の操作方法については、ヘルプをご覧ください
弊社では、サポートいたしかねます。

Ulead のソフトウェア

添付されている Ulead のソフトウェアについて説明します。

❑ 入っているソフトウェア

- **VideoStudio 5 SE Basic**
  本製品で録画した映像を編集することができる、DV カメラに対応したデジタルビデオ編集ソフトです。

- **DVD MovieWriter 1.5 SE**
  DVD タイトルや CD-ROM タイトルを作成するツールです。DV カメラなどから取り込んだ映像やビデオファイルを編集して、ディスクに焼き込みます。

- **PhotoImpact 7 SE**
  本製品で撮影した写真を編集することができます。

- **DVD SlideTheater**
  本製品で撮影した写真を使ってスライドショーを作り、DVD を作ることができます。撮った写真をパソコンや大画面テレビでお楽しみください。

❑ インストール方法

サポートソフトメニューからそれぞれのインストールを行ってください。

❑ オンラインマニュアルの参照方法

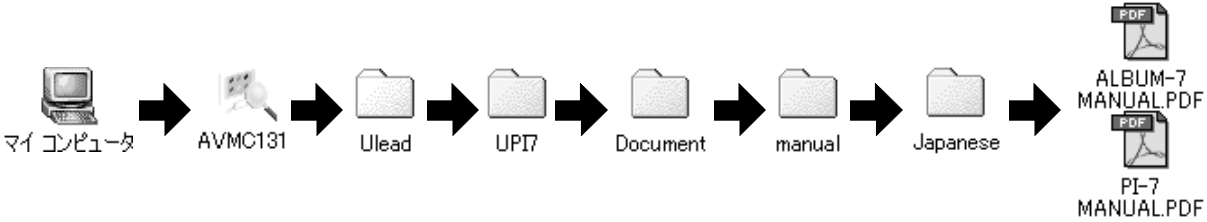
● **VideoStudio 5 SE Basic**



● **DVD MovieWriter 1.5 SE**

インストール後に、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［Ulead DVD MovieWriter SE VR］→［ユーザーマニュアル］の順にクリックします。

● **PhotoImpact 7 SE**



● **DVD SlideTheater**

インストール後に、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［DVD SlideTheater］→［ユーザーズマニュアル］の順にクリックします。

デジカメ 3D エディタ LE

デジカメ画像をディスプレィ上、プリンタ印刷で立体感あふれる 3D 画像に変換。個人でインターネットの写真、イラストなどもボタン 1 発で自動立体化、不適切な 3D 部分も塗り絵感覚で最適な 3D 編集可能な楽しさ無限大のソフトウェアです。普通では体感できないリアルなアリや巨人の視点も 3D 変換により実体験できます。無償版デジカメ 3D ビューワ LE との連携で個人で作成した 3D 作品をインターネット公開も可能です。

❑ デジカメ3Dエディタ LEのインストール方法

サポートソフトメニューから「デジカメ 3D エディタ LE のインストール」を起動してください。

❑ デジカメ3Dエディタ LEの操作方法

オンラインマニュアルをご覧ください。
サポートソフトメニューから「オンラインマニュアルを見る」をクリックすることでも、表示されます。

お問い合わせ

❑ 本製品

1　まず、【困った時には】をご確認ください。

2　それでも解決できない場合は･･･

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　金沢…076-260-3646　東京…03-3254-1036
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用の OS とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容)

❑Uleadのソフトウェア

各ソフトウェアは、サービス品につき弊社ではサポート致しかねます。
ユーリードシステムズ株式会社にお問い合わせください。
※ 詳しくは、「Ulead 製品お客様保管用カード」をご覧ください。

● **ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係**
※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。

住所　　〒158-0097　東京都世田谷区用賀 4-5-16　TE ビル
ユーリードシステムズ株式会社
ユーザーサポート係
Tel 03-5491-5662
10：00～12：00　13：00～17：00
土曜、日曜、祝日、年末・年始はお休みです
e-mail　　support@ulead.co.jp

修理

❑ 修理の前に

故障かな？と思ったときは、

① 本書をもう一度ご覧の上、設定などをご確認ください。

② 弊社サポートセンターへお問い合わせください。（【お問い合わせ】をご覧ください。）

明らかに故障の場合は、下記内容をご参照の上、本製品をお持ちください。

❑ 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、下記の事項をご確認ください。

● **内部のデータについて**

・検査の際には、内部のデータは全て消去されます。どうぞ、ご了承ください。

※ データに関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

・弊社では、データの修復は行っておりません。

● **お客様が貼られたシールについて**

修理の際に、製品ごと取り替える場合があります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

● **修理金額について**

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※ 弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理できない場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復ハガキにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に **FAX** 番号をお知らせいただければ、**FAX** にて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料で返送いたします。

❑修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

● **メモに控え、お手元においてください**

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元においてください。

● **これらを用意してください**

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ 保証期間が終了している場合は、不要です

・下の内容を書いたもの

－ 返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］
－ 日中にご連絡できるお電話番号
－ ご使用環境（機器構成、OS など）
－ 故障状況（どうなったか）

● **修理品を梱包してください**

・上で用意したものを修理品と一緒に梱包してください

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください

※ 無い場合は、厳重に梱包してください

● **修理をご依頼ください**

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される際は、発送時の費用はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただきます。

・紛失などを避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください

送付先
〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
修理係　宛

● **修理品の返送**

・修理品到着後、通常約 1 週間ほどで弊社より返送できます。

※ ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

AVMC131 取扱説明書
2002.10.17　124052-01発 行
株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地
© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。